



特定非営利活動法人  
九州海外協力協会

熊本地震に続き、九州全土で大雨・洪水・土砂災害と災難続きです。今後の台風シーズン到来で、更なる自然災害が懸念されます。今年は、自然の脅威を改めて感じさせる年となりそうです。天中殺でしょうか。

また、バングラデシュのテロにより7人のJICA関係者の尊い命が無残にも奪われてしまいました。一人は協力隊経験者であり、本当に悲惨な状況に憤りを覚えます。自然災害もテロも未然に防げないものでしょうか。私達が携わってきた国際協力は無力なものでしょうか？

東北大震災では延べ数千人の協力隊経験者が復旧・復興支援に携わり大きな力になってきました。熊本地震後は、益城町の避難所で多くのOVが避難者に寄り添った支援活動を展開しています。協力隊で培った力を思う存分に発揮した支援活動を行い、高い評価を得ています。

人は「幸せ」を感じることができれば、他人を傷つけたり、殺めたりする行為を行うことはないでしょう。ある人は、『究極の幸せは4つ。「愛されること」「褒められること」「役に立つこと」「必要とされること」で人は究極の幸せを感じることができる。』と言っています。将に、国際協力は、途上国の人々に寄り添い、協働することで人々の幸せを共有するのが仕事です。国際協力を通じて、世界平和に貢献できるのではないのでしょうか。それは、経済的豊かさを与えるより、より難しい事かもしれませんが。  
事務局長 武下悌治

## 当協会メールアドレス・HPアドレス変更のお知らせ

5月15日に行われた第12回通常総会を受けて、当協会の英語表記が変更になりました。  
当協会の英語表記は今後次の通りとなります。

「Non-profit Organization Kyushu International Cooperative Association, Japan : NPO九州」

また、それに伴いまして**8月1日よりメールアドレスとホームページアドレスが変更になります。**

■メールアドレス：「\*\*@joca-kyushu.or.jp」→「\*\*@npo-kyushu.or.jp」  
(2ヶ月間は旧アドレスでも受信できます)

■HPアドレス：<http://www.joca-kyushu.or.jp/> → <http://www.npo-kyushu.or.jp/>  
(ブックマークされておられる方ご注意ください)

事務所の2階から3階への移転に引き続き、メールアドレスやホームページアドレスも変更となりますが、職員一同、これまでと同じく、いやそれ以上に業務に邁進しております。  
会員の皆様には、より一層のご愛顧をお願いいたします。

## ☆協力隊ナビ開催場所変更のお知らせ☆

(協力隊に行きたいけどちょっと不安という方に)

その不安を解消すべく、OB・OGが相談に乗る会)

これまで当協会事務局にて開催しておりました協力隊ナビですが、事務局の引越しに伴い、開催場所が変更になっております。新しい開催場所は以下の通り。

また、開催日もこれまでの月1回から、協力隊の募集時期に合わせ、**4月、5月、7月、10月、11月、1月の年6回**になっておりますのでご注意ください。

場所は東区に移転しましたが、是非是非、ご参加ください！(地図の赤い場所です。)参加費無料！軽食・飲み物を準備して優しい元ボランティアたちが待ってま〜す！

場所・問い合わせ先

〒812-0053 福岡市東区箱崎3-20-9  
NPO法人箱崎自由学舎ESPERANZA (えすぺらんざ)  
電話：090-8396-3797 (福岡県協力隊OB会長小田)



# 職員お仕事レポート & 活用のご提案

職員の普段のお仕事についてご報告させていただくとともに、皆様にぜひご活用いただきたい当協会の事業についてご紹介いたします！



## 国際協力出前講座 河野（青年海外協力隊・カンボジア・織布）

皆さん、こんにちは。

協力隊員としての活動を終えて、早7年。日々協力隊の経験を市民の皆さんに還元すべく、小さな子どもからお年寄りまで、ご依頼があれば「国際協力出前講座」のアレンジをしております。

帰国した当初は「人様に話せることなんてないなあ。役に立ってなかったし。」とっていました。しかし、出前講座の講師の依頼を受けて、活動を振り返ると・・・思いのほか、仕事をしていたことに気がつきました。

今でも当時の同僚たちにどう思われていたかは分かりませんが、縁あって行ったカンボジア。今でもなんとなくつながっています。

私は染織の指導以外にも、日本語を教えていたのですが、その教え子からたまにスカイプで「はじめまして、せんせい！」とメッセージが来ます。そのたびに「はじめましてはつかいませんよ！こんにちはです。」と訂正しますが、一向に直りません。いつも、なんとなく笑わせてくれる、カンボジアの友人たち。2年間をともに過ごしたからこそ・・・ですよね。



**帰国されて間もない隊員さん、あなたも一度、出前講座の講師をやってみませんか？**

## 宗像グローバルアリーナでグローバルなクバーラ

橋口（青年海外協力隊・ボリビア・視聴覚教育／シニア海外ボランティア・エルサルバドル・放送）

7月10日、宗像グローバルアリーナにて、福岡県が実施する海外県人会人材育成事業で招聘された北中南米地域の日系人の子どもたちと、宗像の子どもたちとの交流事業で、クバーラを実施しました。まずは「日系人社会」について理解が難しい日本の子どもたちに対し、背景を簡単に紹介した後、ボリビアでの協力隊体験を通して感じた日系人と日本とのつながりをお話しました。その後は子どもたちお待ちかねのクバーラを実践！日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語が飛び交う、

グローバルなクバーラ。言葉が通じあえなくても、子どもたちなりにコミュニケーションをとって作戦会議を行うなど、普通の文化交流では得られない体験が双方にできたようです。

**学校に会社にサークルに、“異文化理解出張クバーラ”お伺いします！是非ご活用ください！**



## エチオピア式コーヒーセレモニー

古泉（青年海外協力隊・エチオピア・コミュニティ開発）

5月28日土曜日、時折小雨がぱらつく中、佐賀県立博物館屋外スペースにて、“Sagan Coffee Festa 2016”という催しが行われました。コーヒー好きによるコーヒー好きのためのこの催しのメインイベントの一つとして、エチオピアのコーヒーセレモニーを実施いたしました！

実はエチオピアにいた頃はコーヒーはもっぱら現地の友人に淹れていただいて、飲ませてもらうだけだった私ですが、今回はエチオピア直輸入の道具を使い、おもてなしする側に回ります！また、野外イベントのため電気が使えない、というのはエチオピアと同じ。豆を洗うところから始めるため、「飲み終わるまでに2時間くらいかかりますが大丈夫ですか？」という問いかけに最初は及び腰だった参加者の皆さんも、コーヒーを淹れる手順に興味津々、コーヒーが出来上がる頃にははだんだんと打ち解けてたくさんの質問が出てきました！

“イニタタ！”（一緒に飲もう！）は日本でも有効です！

**現地直伝、エチオピア式コーヒーセレモニー体験をご希望の方、ご連絡ください！**



仕事以外にも普段から地域とのつながりを大切に、ラグビー、山笠、筋力アップなど、プライベートも忙しい毎日を送る米村職員より、春からの活動報告です。

## 熊本震災を受けて

4月に熊本で発生した地震により、甚大な被害が出ました。熊本には私の父の実家があり、米村家の墓があります。また親しい友人もあり、とても他人事とは思えませんでした。そこでまずは4月の末、個人的にボランティアに行き、友人が勤務する小学校避難所でお手伝いをさせていただきました。

そして数日後のゴールデンウィーク中には、東京の青年海外協力協会(以下JOCA)から復興支援のニーズ調査団が来るということで、同行することになりました。「各地に散らばる、“何かしたい!”という思いを持った協力隊OVをつなげ、支援ができたら」とのこと。数名のOVに会うことができ、菊池市役所での災害対策会議にも出席させていただきました。

また、益城町町長への聞き取りも実現できました。町長は「今後の町を再生をするノウハウがないので、そのようなノウハウを持った団体に手伝ってほしい」と仰っていました。

さらには阿蘇在住の山部元会長の家にも訪問しご挨拶させていただきました。山部元会長の自宅近くの阿蘇神社は大きく崩れ、阿蘇山も形が変わり、地震の大きさを物語っていました。

JOCA調査団が東京へ帰る日、私は熊本に残らせてもらい、再び友人が勤務する小学校の避難所へ手伝いに行き、翌日には瓦礫の撤去作業のボランティアを行いました。そこで感じたことは、避難所、民家、役所などでのニーズはすごいスピードで刻々と変わっていること、本当にたくさんの支援団体がすでに入っており、その団体との協議や調整が必要であること、それでも全ての分野において人手や物資が足りていないこと、「何かしたいけど何が出来るか分からない」人たちがたくさんいることです。現在はボランティアの数が減っており、炊き出しもブームが去ったようになっていくそうです。一時は大きな避難所の前には様々な炊き出しが並び、お祭りのような光景だったそうです。緊急支援の後、息の長い支援が何年も必要になってくことは、分かっていたつもりでしたが、いたく実感しました。

(※避難所の写真などもありますが、個人情報保護の観点から掲載しておりません。)



山部元会長(中央)



崩れた阿蘇神社



形が変わった阿蘇山

## カンボジア出張報告

5月29日～6月6日でカンボジアへ追加調査へ行って参りました。カンボジア中学校教員の指導能力向上プロジェクトの実施のために、今回は主に「授業」を観察しました。ターゲット校であるバイオン中学校とクビエン中学校にて、先生たちにプロジェクトの説明をしたり、授業を観察させてもらったり、聞き取り調査を実施したりしました。

開発途上国の授業がほとんどそうであるように、カンボジアの多くの先生が行っている授業は、「一方通行」の授業です。“先生が喋り、生徒が聞く。先生が教科書を黒板に書き写し、生徒が書き写す。一部のよく出来る生徒が問題を解き、ほかの生徒はそれを見る。”先生とよく出来る生徒だけで授業が進んでしまっている現状があります。字が書けない生徒もいることを先生は分かっているけれど、特に対処はしない。このような授業が少しでも「全ての生徒が参加できて、自分で考えることが出来る面白い授業」になれば、生徒の理解も少し向上するのではないかという思いを持って、今回の調査結果を元にプロジェクト内容を考えています。



# ホームビジット受け入れ家族募集のお知らせ

来たる2016年9月、日本の小中高等学校や教育委員会を訪問する13日間の途上国教員研修を行います。今年の参加者は太平洋諸国の若手の先生達！！異なる文化を体験するために9月17日（土）にホームビジット（一日受け入れ）を企画しています。

そこで・・・9月17日（土）にホームビジットを受け入れてくださる家族を大募集します！！

※18家族対象（上限に達し次第受付終了）

ご希望の方は、メール、電話にてお問い合わせください。  
申込用紙をお送りします。

9月17日（土）スケジュール

- ・ 10：00～対面式（当協会事務所）
- ・ 18：00くらいまで自由行動

詳しいことは、お気軽に担当の米村まで♪  
[yonemura@npo-kyushu.or.jp](mailto:yonemura@npo-kyushu.or.jp)

あなたたちのこと、  
日本のこと、  
もっと教えて！！



メール

料金後納  
郵便

特定非営利活動法人九州海外協力協会  
〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館  
3F C号室  
TEL:092-415-6536  
E-mail:ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp



## （特活）九州海外協力協会 ☆会員募集中☆

当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「九州海外協力協会だより」をお送りさせていただいているほか、当会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非ともご入会下さい！

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

## 九州海外協力協会 ブログ

スタッフが日々の業務やそれぞれの日常を徒然なるままに綴っております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。  
基本的には毎週水曜日更新！  
コメントお待ちしております☆

<http://blogs.yahoo.co.jp/jocakyushu/MYBLOG/yblog.html>

## □ インスタ的な □

事務所で育て中！



発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前3-10-34  
Mビル3号館 3F C号室  
TEL:092-415-6536  
FAX:092-415-6518  
HP: <http://www.npo-kyushu.or.jp/>  
E-mail: [ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp](mailto:ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp)

